

令和2年度多賀城市新庁舎等ネットワーク構築設計等支援業務
公募型プロポーザルについて

令和2年度多賀城市新庁舎等ネットワーク構築設計等支援業務
公募型プロポーザル審査委員会
委員長 吉田 学

本市では市庁舎の建設・改修に伴うサーバ室の移転に併せ、ネットワーク機器類の新設・移設を含めた再構築を計画しております。本業務では、現行のネットワークに関する調査及び課題の抽出を実施し、新庁舎内のネットワーク（LGWAN、インターネット、個人番号系、出先機関等接続等）に関し、要件定義、基本設計、概算費用の算出等を行い、新庁舎等のネットワーク構築を円滑かつ確実にを行うために必要な支援を目的とし実施することとしました。

1 審査委員会

	所属及び職氏名	
審査委員長	総務部次長	吉田 学
審査委員	総務部管財課長	星 昌昭
	総務部総務課情報化推進係長	千葉 泰弘
	市民経済部収納課滞納整理係長	高橋 徹
	市長公室行政経営担当副主幹	阿部 博光

2 審査経過

令和3年3月10日 第1回審査委員会（プレゼンテーション実施後、優先交渉権者の選定）

3 審査結果

優先交渉権者 NEC フィールディング株式会社仙台支店

4 審査講評

本市は市庁舎耐震対策等事業を進めるにあたり、市庁舎の建設・改修に伴うサーバ室の移転に併せ、ネットワーク機器類の新設・移設を含めた再構築を計画するため、公募型プロポーザル方式を採用し、実績及び技術力を備えた事業者より企画提案書の提出を受け審査を実施したところです。

審査においては、導入実績や実施体制、スケジュールや現行ネットワークに関する調査、新庁舎ネットワークの基本設計業務のほか、追加提案を評価項目とし、本市の良好なパートナーとして本事業を推進できるか否かを慎重に検討しました。

優先交渉権者として選ばれた提案は、新庁舎におけるネットワークに関し、現状の問題点、リスクの洗い出し、課題の整理を確実なプロジェクト管理の下で、具体的かつ安全に実施する計画となっており、利便性の向上及び先見性の視点による追加提案など本市及び本プロポーザルを十分に理解・研究された将来性のある提案であったと認められるものでした。

最後に、本プロポーザルに参加され、貴重な時間と労力を費やされ、真摯に努力し技術提案していただいた事業者に心より感謝いたします。